

科目	美術 I	学年・類型	1年・普通科、国際文理科、商業科	単位数	2
教科書		高校生の美術 1 (日本文教出版)			
副教材等		スケッチブック、アクリル絵の具セット			
学習目標	幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、想像力や生きる力を育てるとともに情操豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
学習心得	「描く」「つくる」「見る」活動を通して、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気付いたりして、自分の「美術」を見つけていくことを大切にする。				
	単元	主な学習活動			
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・絵画 (構成デッサン) ・色彩構成 (平面構成) (ポスター) 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術学習の意義、内容、心構えについて理解する。 ・「見る」「視る」「観る」ことにより観察力、描写力を深める。 ・美しい構図や形の正しい描き方について理解する。 ・色に関する基礎知識を身に付ける。 ・色の関係、特性を理解する。 ・アクリル絵の具の特性を理解し、塗り方を身に付ける。 ・効果的な情報伝達を学ぶ。 ・ポスター制作を通して、社会問題に対する意識を高める。 			
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン (キャラクター制作) ・映像メディア表現 (パラパラ漫画) ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメやキャラクターについて理解する。 ・設定について理解し、状況に応じた動きや表情を追究する。 ・アニメーション制作の基本的な技術と考え方をパラパラ漫画の課題制作を通して学ぶ。 ・動画編集の技術を身に付ける。 ・映像メディア表現の歴史、表現の特徴などを学ぶ。 			
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画 (自画像) ・鑑賞 ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の内面を見つめ、自分らしさを表現する画面を構成する。 ・明暗を意識し、立体感を表現する。 ・細部を丁寧に処理する。 ・作品鑑賞を通して、作者や作品の想いを理解するとともに、美術作品が社会に与える影響について考える。 ・1年間の制作活動を振り返る。 			

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	美術作品や画材、技法についての基本を理解する。また、各画材の使い方を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・制作の取組状況 ・単元小テスト
思考・判断・表現	課題に対して、自分の考えを文字や絵に起こし、構想を練ったり工夫したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の創意工夫や表現技法の追究 ・小テストの文章問題やレポート ・ワークシートの記述
主体的に学習に取り組む態度	毎時間課題に対して真摯に向き合い、美術の様々な分野に意欲的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む態度 ・制作カード

